



忠類地域は164人、幕別地域は208人が盆踊りに参加。アニメや映画のキャラクターに扮装した子どもや浴衣に身を包んだ男女などが、色とりどりの仮装と踊りで会場を盛り上げました。



夏の風物詩 忠類・幕別で盆踊りの輪

8月14日にふれあいセンター福寿前で第18回忠類ふるさと盆踊り大会が、17日に役場前で幕別町夏まつり盆踊り大会が開催されました。



仮装盆踊りと審査発表後には毎年恒例の紅白もちまきが行われました。来場者がやぐらを囲み、「こっちにまいて！」とアピールをしたり、飛んできたもちを受け止める歓声で賑わいました。



Science&Technology Adventure

小学生ものづくり体験教室 「サイテクアド」



▲竹ひごとオーロラテープで作った「くるくるレインボー」。

◀目の錯覚が地球の周りを回る月を作り出すフィルムケースのコマ。

7月31日、北海道科学大学と町教育委員会が主催の小学生を対象としたものづくり体験教室「サイテクアド(サイエンス&テクノロジー・アドベンチャー)」を日年記念ホール講堂で開催し、小学生29人が参加しました。

「ものが見えるしくみ」をテーマに、光の性質などについて学び、目の錯覚を利用したフィルムケースのコマと、回転速度により形や色が変わる回転玩具「くるくるレインボー」を制作。忠類小3年の高橋瑠衣さんが「くるくるレインボーを作るのが楽しかった」、札幌内南小6年の伊藤透真くんが「ものごとくして見えるのか目のしくみがよくわかった」とそれぞれ笑顔で話してくれました。

思考錯誤しながらロボットにプログラミングで指令を与え、走らせてみる生徒たち。



中学生ものづくり体験教室

8月7日、釧路工業高等専門学校と町教育委員会が主催の中学生を対象としたものづくり体験教室が百年記念ホールのギャラリーで開催しました。

科学技術を使う楽しさを伝え、科学への関心を育てることを目的として毎年開催されています。

今回は、簡単なプログラミングを組み込み、光と音楽が流れる大きなスイッチと、レゴブロックにセンサーを組み込み、「指令」を与え、黒いラインの上を走らせるロボット作りを中学生9人が体験。

札幌内東中2年の古岡應次郎くんは「ロボットの組み立てはすぐできたけど、プログラミングに苦戦した」と、参加した感想を話してくれました。



ぼくたち、わたしたちの夏休み体験学習